題字　納田裕加＆足立暁子

おひさま通信

No. 344

2018年 9月号

社会福祉法人みぬま福祉会
川口太陽の家・アトリエ輪

川口太陽の家
〒333-0831 川口市木曽呂１３７４
kawaguchitaiyonoie@marble.ocn.ne.jp
TEL 048-294-0955　FAX 048-294-4458

川口太陽の家・工房「集」
〒333-0831 川口市木曽呂１４４５
kobo-syu@marble.ocn.ne.jp
TEL 048-290-7355　FAX 048-290-7356
http://kobo-syu.com

アトリエ輪
〒333-0831 川口市木曽呂８９－４
TEL 048-299-9156　FAX 048-299-9157

オレンヂホーム
〒333-0831 川口市木曽呂２４９－１
TEL 048-298-1796　FAX 048-298-1796

各事業所の詳しい様子はみぬま福祉会公式ホームページをご覧ください。
http://minuma-hukushikai.com

みぬま福祉会

海・川旅行

海・川旅行のAグループの日程が台風で延期になり、今年初めての旅行がBグループになりました。Bグループの日も天気予報では曇りだったので、また延期にならないことを願いながら当日を迎えました。私は太陽に勤めてから、初めての旅行ということもあり、心配半分、期待半分でドキドキして前日は寝むれませんでした。

今回の旅行の場所は、千葉県にある鋸南というところで海に近い場所です。海で何をするのかというと，海を見ながら、BBQ しよう！‘ というのが今回の旅行テーマでした。太陽の家を朝８時半に出発し、海に近づいてきて、海が見えると仲間達のテンションが高くなりました。車の中では海にあうような音楽ということでサザンオールスターズの音楽を BGM に流していて、普段 ，サザン‘ が大好きの宮川さんはサザンの歌が流れると嬉しそうに声をあげながら楽しそうに聞いていました。

BBQ の会場に到着すると、職員たちが仲間を誘導したり BBQ の準備をしたり、あっという間に30分が過ぎました。戸田さんは普段かなり走り回っているので、会場でも走るのかと思いきや、落ち着いてじっくり座っていました。音楽が流れているスピーカーの近くで、音楽を聴きながら食事を待っていたんだと思います。肉や野菜、海鮮など、焼き始めると、仲間たちは飲み物を飲みながら肉が焼けるのを待ち遠しくしていました。今回は特別に私がお手製の ，チヂミ‘ を作ってみんなで食べました。宮里さんから“ チヂミ、おいしかった” と言われてとてもうれしかったです。食事もある程度食べ終わり、少しゆったりした時間を過ごして、帰宅する準備をしました。帰りの直前、海を背景にみんなで集合写真を撮りました。いい写真が取れてよかったです。

帰り途中には会場を出て、近くにある道の駅，保田小学校‘ に寄りました。仲間たちはお土産を買ってトイレを済ませた後、帰りの道に入りました。帰りの車中でも穏やかな音楽をかけてゆったりとした雰囲気で帰りました。太陽の家に着き、予定通り無事に帰ってこれて、ほっとしました。今回の旅行で、みんなでおいしいものを食べて、素敵な風景を見て、仲間と職員ともに、とても癒された思い出に残る旅行になりました。

（安）

暮らしの場・起工式

9月5日(水)に新しい暮らしの場の建設予定地にて、起工式（地鎮祭）が行われました。当日は、関東地方に接近した台風の影響で天気が不安定な状況でした。時折、強い風が吹いていましたが、雨は降っておらず、蒸し暑さがある晴れの日となりました。

起工式は、その土地の神を鎮め、土地を利用させてもらう許しを得る神事です。また、安全な建設の工事を願う場でもあります。今回はこの起工式にみぬまの仲間も参加することになりました。式の開始の時間になると神職を先頭に入場していきます。まずは、手を洗い、心身を清めます。仲間も「これから何があるんだ」というちょっと不安気味な表情で着席。神職が神の降臨を告げる声を発して、式が始まりました。

当日は、高橋理事長をはじめ、仲間部会の仲間、家族、職員などみぬまの関係者のほか、設計士である莫設計の松村さん、今回の施工会社である石島建設の社長及び関係者の方、その他この暮らしの場の計画に関わって頂いた方など50名を超える参加がありました。地鎮の儀では盛砂に「エイ。エイ。エイ。」と声を出し、莫設計の松村さんが斎鎌（いみかま）を入れ、高橋理事長が斎鍬（いみくわ）を入れ、最後に石島建設の社長が斎鋤（いみすき）を入れました。その後、玉串を奉り、拝礼。工事の安全とこれからの繁栄を祈願しました。

今回の起工式は、思っていた以上に長い時間となりました。蒸し暑く、強い風もあって厳しい環境ではありましたが、仲間も神妙な顔つきで、最後まで神事に参加していました。前列の席にすわり、一連の流れをじっと見ている仲間もいました。緊張しているのだろうという気持ちが横顔から感じ取れます。「自分たちの建物をつくるぞ」という強い思いと責任感が伝わってきました。

建設予定地には、実際、立ち上がる建物の大きさにそって、ロープが引かれており、実寸大の建物が想像できました。「これが作業室ね。」「あれは玄関だよ」とこれから出来上がる建物を感じる事が出来ました。

これから本格的に工事が始まります。安全に、素敵な建物が建ち上がる事を願いましょう。みんなの希望や願いが詰まった建物に出会えるまであと少しです。

（高橋実）

陽だまりの中より・・・・

～今月の各班の想い～

じゅうに

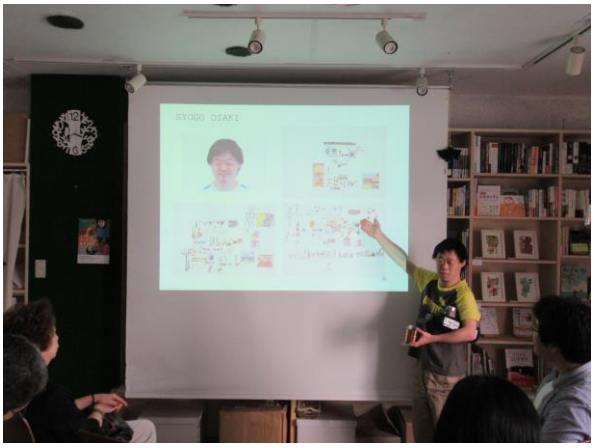
まだまだ暑い日もありますが，じゅうにの仲間たちは元気に過ごしています。今月はみんなが楽しみにしている、夏の打ち上げで、今回は初めて3つのグループに分かれて企画をしました。2チームは、ららぽーと富士見にあるチームラボ、もう1つのチームは、レイクタウンで食べ放題ランチです。チームラボは「未来の遊園地」というタイトルがついている屋内の遊び場です。カラフルで、不思議な雰囲気の空間は、一瞬日常を忘れてしまいます。壁に泳ぐ魚たちは本当の海の中の様でした。仲間たちもそれぞれの楽しみ方をしていました。ﾚｲｸタウンチームは10/1に出掛ける予定です。焼きたてパンの食べ放題という事で、そちらも素敵な時間となりそうです。（関）

サンだいち

メンクロの在庫が少なく今月は新栄団地と南浦和団地にビラ配りを行ないました。新栄団地の回収では予想していたよりも多くのウエスを回収する事が出来、南浦和団地では突発的な大雨に見舞われカッパを着てズブ濡れになりながらの回収になりました。

11月にも100㎏と言うメンクロの大量注文が控えており、今回の回収分では足りません。皆さまもご家庭にありますウエスにしても良いと言う綿 100%素材がありましたら是非ご協力お願い致します。（高野）

めーべ



蕨駅からほど近い芝銀座にある“Antenna Books & Cafe ココシバ”にて、展覧会期中の9月8日（土）に、「問いかけるアート　工房集の挑戦」を昨年発行して頂いた、さわらび舎の温井さんの企画でトークイベントが開催されました。職員2名と作家の関翔平さん、尾崎翔悟さんが、工房集の実践と自身の作品について発表しました。仲間たちが自らの言葉で伝える思いや願いは参加者の心に響き、仕事としても新たな可能性を感じさせ、みぬまの仲間の多様な作品が生まれる秘密については、参加者の関心を強く引き、充実したイベントとなりました。（小和田）

あおぞら

浦和ロイヤルパインズホテルで展示されていた「ホテルに一枚プロジェクト」に、林さんの「三角ランプ」が選ばれました。そこへ、林さん本人から「みんなでいこうか！」と提案があり、あおぞらの仲間みんなで見学にいくことになりました。

ガラスのショーケースに飾られた林さんの「三角ランプ」は、キラキラとライティングされ、モザイク画のような作品になっていました。林さんも仲間も楽しめたようで、みんなで作品を観に出掛けるのも大事だなあと感じました。（渡辺め）

きらっと

今年度、初めての班の打ち上げを行いました。事前の打ち上げの話し合いでは、模造紙に 5 つのセットメニューとデザートの写真を貼り仲間がイメージしやすいように提示し好きなメニューを選んでもらいました。そして 9 月 19 日に和食レストラン「かごの屋」に行き、久しぶりの外食だったので仲間達も楽しく食事ができとても良かったです。その他の活動では、ダンスのワークショップに箭内さん、高谷さんが参加して、思いっきり体を動かし楽しく踊れたことや工房集で行われた「はすの実の作品展」に見学、恵比寿のArts　andCreative　Mind　Galleryで西川さんと箭内さんの作品が展示されたので見学に行くなど自分以外の作品に触れ、観ることができ仲間たちもたくさんの刺激をもらいさらに自分の作品作りの意欲へと繋がっています。（赤羽）

青年隊

給食メニュー人気投票をおこないました！青年隊メンバーだけでなく仲間・職員みんなが、今年度の 4 月～7 月に食べたメインのメニューの中から投票しました。おいしい記憶を思い出しながら、すぐに決める人やじっくり悩む人・・・みんなの給食への愛が伝わってきて大盛り上がりでした！（矢野）

★投票結果★

1 位…カレーうどん【20 票】

2 位…なつやさいカレー【18 票】

3 位…ひやしたぬきうどん【14 票】

4 位…はるまき【11 票】　5 位…ビビンバ【10 票】

6 位…てりやきハンバーガー・ソースカツ丼【9 票】

7 位…和風おろしハンバーグ【7 票】

オレンヂホーム

先月号の表紙の写真（黒部ダムでの記念撮影）にも使われていましたが、オレンヂホームでは夏休みにホームに残っている仲間達で白馬へ 2 泊 3 日の旅行に行って来ました。お箸づくりと黒部ダム見学に分かれたり、みんなで花火をしたり、帰りには野崎さんお勧めのくるみ蕎麦を小諸でみんなで食べて帰ったりしてきました。お世話になった「はら旅館」さん、ありがとうございました。（小野田）

授産報告（９月）

＜収入＞

種目	金額	摘要
ウエス	20,500	
織り	23,500	
絵画	739,505	
詩	0	
古本・古着	200	
粘土製品	0	
ステンドグラス	227,520	
ダンボール作品	0	
和紙・木工	0	
牛乳パック	13,500	
その他	19,937	
給与の為、通帳からの繰入	0	
前月からの繰入	0	
合計	1,044,662	

＜支出＞

項目	金額	摘要
賃金	414,697	
賞与	0	
材料費	19,363	
経費	0	
その他	0	
通帳への繰入	610,602	
作品展準備金	0	
合計	1,044,662	

～今月の新作～

ショートケーキ

大串憲嗣（きらっと）

９月　予定表

		施設	法人・後援会・暮らしの場			施設	法人・後援会・暮らしの場
1	土	休み		16	日		
2	日			17	月		
3	月			18	火		
4	火			19	水		
5	水		中身つくり部会	20	木		後援会役員会
6	木		施設運営担当者会議	21	金	業務責任者会議	
7	金			22	土	休み	
8	土	クラブ	採用試験	23	日		
9	日			24	月		
10	月			25	火		資金作り部会
11	火			26	水		駅頭募金11－12
12	水		常任理事会	27	木	家族会	
13	木		家族会役員会	28	金		
14	金			29	土	職員会議（仲間休み）	
15	土	休み		30	日		大地祭

施設長より

暮らしの場の動きとしては、8 月 25 日に川口太陽の家にて入所施設の入札が行われ、無事に建設業者が決まり、いよいよ工事が始まります。9 月 5 日に行われる起工式には、仲間部会を中心に太陽に家の仲間達も参加して建設祈願をしたいと思っております。

また、8 月中、川口太陽の家・アトリエ輪では新規開設入所施設への利用希望聞き取り調査（個人面談）を全家族と行っております。4 月に開所予定となる新しい暮らしの場への希望を含め、ご家庭で将来についてどのように考えていらっしゃるのかを直接話をするこのような機会は、家族からの切実な思いを聞くとても貴重な時間となっております。どのご家庭も、今回の面談を迎えるにあたって家族で何度も話し合いをし、悩みながらも確固たる決断をした方がほとんどです。仲間たちは、太陽での仕事や生活の中でたくさんの困難にぶつかり、日々葛藤しながらも成長しています。職員は、仲間たちの言葉に表すことのできない思いを受け止め、願いに寄り添いながら理解を深めて実践を行っています。家族も職員も、成長した今の仲間たちの姿を見て、暮らしの場に託せる時がきたと実感しています。

（川口太陽の家　黒田徹）

＜建設予定地 8.30 撮影＞

～後援会からのお知らせ～

【今後の予定】
・三役会　　10月16日（火）　川口太陽の家　１０：３０
・役員会　　10月18日（木）　交流センター　１０：３０
・事業部　　10月2日（火）　川口太陽の家　１０：３０
・広報部（企画）10月2日（木）　川口太陽の家　１０：３０
・カフェ　　10月15日（月）　川口太陽の家　１３：００
・コンサート実行委員会　10月3日（水）川口太陽の家　１０：３０
・学習・運動委員会　10月5日（金）　交流センター　１０：１５

インフォメーション

〇シネマ・チュプキ・タバタ（映画館）
・上映映画のチラシに9月は横山明子さんの作品を使用。
10月は西川泰弘さんの作品を使用予定。
〇工房集展
会期：10/4（木）～10/30（火）11：00－19：00水曜定休
会場：アーツ前橋ミュージアムショップ mina(群馬県前橋市千代田町)
出展作家：伊藤裕、林直登、荒井尭、横山涼、納田裕加、渡辺孝雄
〇「工房集展　輝くものたち－どこから来てどこへ行くの？－」
会期：10/30（火）～11/10（土）12：00－18：30　無休
出展作家：伊勢川秀雄、岩井美和子、大倉史子、高谷こずえ、田島絵里、田村美弥、林直登、水島理佳、横山涼
〇埼玉県障害者アート企画展
会期：11/23（金）～11/25（日）会場：ソニックシティ

色鉛筆(=^・^=)

オレンヂホームでは時々、茶色く素早い“あれ”が出ます。“あれ”に相対したときの嫌悪感は人類普遍のものでなく、社会性のなかで作られていく幻想なのでしょうか…。なぜ私たちは“あれ”が嫌いなのか考えた時、フォルムと素早さ、そして飛ぶという未知の動きをすることがあると思います。動きがもっと穏やかなら、見ただけで身構える必要はないでしょう。

また、名前にも問題があると思います。“ゴキ”の後に“ブリ”が来るなんて好感を持つことの方が難しいです。仮に綺麗な名前、“ヒスイ”だったとしたらと想像します。
『あっ、“ヒスイ”だ！　早く捕まえて！』
『・・・』
やはり字面は優しいですが、それでもヒスイとは出会いたくないものです。何ともとりとめもない話でした。

（オレンヂホーム：熊木）

こんにちは。今回は最近のお気に入りカフェをご紹介したいと思います。場所は、原宿と代々木の間で、閑静な住宅街とオシャレなセレクトショップが混在するエリア、千駄ヶ谷3丁目にあります。店名は、『Tas Yard』です。買い物&散歩でウロウロしていたところにたまたま見つけた小さなお店です。

コーヒーが美味しく、とても心地よい空間で、店員さんに聞いたところ、インテリアショップやオリジナルの家具を手掛ける『Landscape Products』(ランドスケーププロダクツ)がプロデュースしたお店だと教えてもらいました。

また、カフェに併設して『GOOD NEIGHBORS' FINE FOODS(グッドネイバーズ ファインフーズ)』という、食にまつわるセレクトショップがあります。とても狭いのですが、そのお店の中には、様々な国や地方の食材が並んでいます。徳島県神山町の「かま屋」というお店のパンが特にオススメです！

とても小さなお店なのでわかりづらいですが、近くへ行った時は、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

（総務：岩井）

数年前から近所で時々すれ違う女性の方がいました。その方は、私が以前勤めていた職場（約20年前）の先輩によく似ていて、そのご本人かなとずっと気になっていました。

次会ったら声を掛けてみよう！と思ってチャンスは何度もあったのですが、人違いだったら恥ずかしいと思い、勇気が出せずにいました。その後も、いつも行くクリーニング店の近くや、信号待ちでもお見掛けしました。その度に、やっぱりあの時の先輩だなと少し遠くから見ていました。そして、つい先日のことです。私の自宅に一番近くの小さなコンビニでレジの列に並んでいると、その方が前に並んでいたのです。今度こそ声を掛けてみようと決心して、お店を出た所で「違ったらごめんなさい、〇〇さんですか？」と尋ねました。彼女は一瞬目を丸くしましたが、すぐに私の事を分かって下さり笑顔になりました。やっぱりご本人だった。しばらくの間立ち話をしました。とても懐かしくて嬉しかったです。別れ際彼女が「また声掛けて下さいね。失礼します。」とペコリと頭を下げ、年上なのに礼儀正しいところも変わっていなくて心が温かくなりました。（じゅうに：関）

夏休みのある一日。

長女（中1）と長男（小3）の宿題のために朝から動いていたにも関わらず・・図書館から事務キチへ向かう車中、長女と長男のあまりの態度の悪さにプチんとキレた母…。その日ずっと態度が悪く喧嘩ばかりの長女と長男。私はもう我慢の限界で、お金だけ渡して2人を事務キチにおいてきました。長女は自分の自転車での行動範囲、でも長男はまだ一人では帰れないという状況。おいて帰ったものの、猛暑の中2人で帰って来られるのか心配。なかなか帰ってこないので、しびれをきらした父が自転車巡回へ。なんと・・2人で並んでポテトチップスを抱えて歩いていたとのこと。このまま帰れないから公園でポテチ食べよう！と話し合っていたようです。こういう時だけ結束力が生まれるんだー！？姉弟ってそんなものなんですかね…家に着くと二人そろって「ごめんなさい」と謝ってきました。ちなみに、そのポテチ代はきちんとふたりのお小遣いから引かせてもらいました！！　（きらっと志村）

＜おひさま通信編集委員＞ 黒田、大川、小嶋、津畑、安、熊木、宮本ゆ